

賑やかに新年の幕分けを祝う 久米島町新年会

1月7日、久米島町新年会が具志川改善センターで行われ、関係者約320名が出席しました。町文化協会古典音楽部会、琴曲部会によるかぎやで風の合奏で幕開けし、町長などによる鏡開きなどで今年1年の町の発展を祈願しました。会の中では、平成30年に叙勲を受賞した儀間光明さん（秋の叙勲・瑞宝双光章）、江洲良徳さん（高齢者叙勲・旭日単光章）が紹介され、参加者で激励しました。



タスキをつないで島一周 ふれあい駅伝大会

第17回久米島町ふれあい駅伝大会（主催：久米島町体育協会）が12月16日に、仲里総合グラウンドをスタート、ゴールで行われました。各字対抗にて行われ、今年は12チームが参加し、島内を1周（24km）するコースを小学生から50代まで17人でタスキをつなぎました。

優勝	なかさと東・南謝	1時間33分42秒
準優勝	なかさと東	1時間34分17秒
3位	鳥島	1時間35分41秒



公民館にイス・テーブルを整備

一般コミュニティ助成事業

（一財）自治総合センターでは「一般コミュニティ助成事業」を実施しています。久米島町ではこの事業を活用し「各自治会の活動が活発になり、より一層の地域コミュニティの強化や地域活性化につながることを目的に会議用テーブルとイス一式を7地区の公民館に整備しました。各自治会では、本事業で整備された備品を活用して、今後も地域コミュニティの維持と強化を図ります。



久米島の自然を楽しみながら

ウォーキング

久米島のんびりウォーク

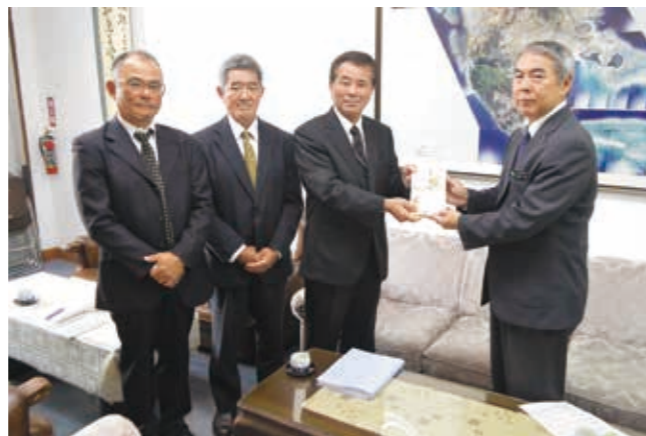
1月19・20日の両日、久米島のんびりウォークが行われました。子どもからお年寄りまで、県内外から約530人が参加。4kmから30kmまでの7コースから、自分の体力に合ったコースを選び、アーラやだるま山の桜を見ながら、またビーチサイドをのんびり楽しみながら歩いていました。19日はゴール後、いちゃりば交流会が行われ、フラダンスや民謡を楽しみました。



子供たちの人材育成に！

昭和33年生還暦大同期生会

昭和33年生還暦大同期生会から町育英会へ28万7,810円が寄付されました。同期生会は、11月23日に島内のホテルで開催され162人が参加し、盛大に行われました。その会の余剰金を島の未来を担う子供たちの人材育成のために役立てて欲しいとの願いを込めて寄付されました。吉野教育長は「経済的に厳しい状況の中で、大学等へ進学したいと願う生徒を対象とした給付型奨学金として活用したい」と感謝しました。



交通事故ゼロを目指して！

秋・年末年始の交通安全運動

久米島町では年4回、関係団体の協力のもと交通安全運動を行なっています。

秋と年末年始の交通安全運動ではチラシ配布を実施しました。

【秋の全国交通安全運動】

平成30年9月21日

Aコープ前にて、久米島町民生委員、久米島交番と協力し、安全運転の呼びかけをしながら、チラシ配布を行いました。



▲秋の全国交通安全運動

【年末年始の交通安全運動】

平成30年12月20日

イーフ地区、儀間地区、仲泊・大田地区の3か所で飲食店を中心にお店などへ飲酒運転根絶の呼びかけを行いました。久米島交番、久米島町婦人会、久米島町青年団協議会、区長（イーフ、山城、大田、西銘）などが参加し、交通安全チラシ配布を行いました。



▲年末年始の交通安全運動

ライフジャケットを寄贈

沖電企業株式会社

12月20日、沖電企業株式会社の仲道正哲さんらが教育委員会を訪れ、ライフジャケット30着を寄贈しました。同社は「地域社会貢献」の一環として、地域のニーズに応じて、様々な支援を行っており、自然教室などで、子供たちの水難事故を防ぐため活用してほしいと寄贈。吉野教育長は「交流体験や海・川での学校の自然教室で活用できます。とても助かります。」と感謝しました。

